

タンネウシ

2025年 2 月号

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

知床博物館第43回特別展
知床国立公園60周年・世界遺産
20周年記念事業
大標本展
今月で終わりです!



9月末から開催してきました特別展「大標本展」も、ついに今月末で終了します。今しか見られない秘蔵の生物標本を多数展示しております。まだ見ていない方、そしてもう一度見たいという方は最後のチャンスになります!ぜひ、足をお運びください。▶会期: ~ 2月28日(金)▶場所: 交流記念館ロビー



大標本展の様子

博物館講座

スノーシューで行く神の子池観察会

伏流水の湧き出し口が青色に見える神の子池へ、道道の入口からスノーシューで行きます。森の中を観察しながらの片道1時間の散策のうち、帰りに緑の湯に入り疲れをいやしたいと思っています。

▶日時: 2月16日(日) 9:00~15:00 ※博物館集合・悪天候の場合は中止▶場所: 神の子池(清里町)
▶講師: 合地信生学芸員、阿部公男主任▶定員: 6名(※要申込み)▶参加費: 300円(中学生以下、協力会員無料)▶持ち物: スノーシュー(博物館にもあります)、昼食、お風呂代と手ぬぐい(450円、18歳以下140円)、暖かい服装



— 昨年の様子

博物館講座

スノーシューで行くフレペの滝

スノーシューを履いて歩けば、夏では見ることができない動物たちの痕跡や景色を見ることができます。知床の森を一緒に歩いてみませんか?▶日時: 2月9日(日) 8:00~12:30 ※博物館集合・悪天候の場合は中止▶場所: フレペの滝周辺の森(2km程度の散策)▶講師: 白井平学芸員、能勢峰、能勢理恵▶定員: 5名(小学3年生以上)※要申込み▶参加費: 無料▶持ち物: スキーウェア等暖かい服装 ※博物館キッズとの共催講座となっています。※スノーシューは無料レンタルできます。



昨年の様子

収蔵資料展示

昭和初期の「雛壇の掛軸」

雛祭りは女の子のすこやかな成

長を祈る年中行事です。昭和10年頃に飾られていた、多色使いがとても華やかな「雛壇の掛軸」を2幅展示します。▶会期: 2月5日(水)~3月2日(日)▶場所: 本館受付前



雛壇の掛軸

○ 学芸員のイチオシ

ディバイダー



円を書くときに使うコンパスが身近ですが、考古学や製図の際には両方に針がついている「ディバイダー」をよく使います。土器や石器などを紙に図化する際に、基準となる箇所と測りたい箇所にそれぞれの針をあて、紙に印をつけます。紙につけた印を鉛筆で繋げ、線を書きます。定規の目盛では測りきれない箇所を図化する際に最適です。(勝田)

休館日

2月3日(月)、10日(月)、11日(火・祝)、17日(月)、23日(日・祝)、24日(月)